

エヌエムシー
税理士法人

上海の店頭取引市場に登録

中国進出企業への支援強化へ

エヌエムシー税理士法人(野本会計事務所)

で祝賀セレモニーが行われた。

のグループ会社、中国法人「野本財務咨询(上海)有限公司」(野本財務コンサルティング有限会社)が1月27日、中国の未公開株を売買する「店頭取引市場」のひとつ「上海股權托管交易センター(SEE)」への登録が承認された。同29日、上海

セレモニーでは、同グループの野本明伯代表が抱負を述べ、SEE象徴の銅鑼(どら)を鳴らして登録承認を祝った。同社では、登録により「中国への進出を考える企業の国際財務関連サービスなどの支援をより一層強化し、さらなる安心と満

足を提供できる体制が整った」と意気込みを話している。

中国では、2大証券取引所である上海・深圳への新規上場が難しかったため、国有企業に比べて資金調達能力が弱い民営の中小企業にとって、「店頭取引市場」が資金調達の重要なルートとなっている。登録する企業はこの数年で急増し、2015年1月には日系企業4社が初めて登録した。



銅鑼を鳴らす野本代表